

第 15 回遺伝カウンセリングアドバンスセミナー  
(第 3 回臨床遺伝専門職のためのがんゲノムセミナー) のご案内

- .....
- 講義 (WEB) 配信期間：令和 3 年 9 月 4 日(土)0:00～10 月 1 日(金)10 日 (日) 23:59 (予定)
  - RP 開催日：令和 3 年 9 月 18 日(土)
  - 実行委員長：山田崇弘 (京都大学医学部附属病院)
  - 講義 + RP (会員のみ) 修了者へ単位認定とする。RP は zoom にて実施。講義のみ (会員、非会員問わず) の聴講可、但し単位付与なし。
- .....

●プログラム (予定)

講義名	演者	所属	講義のねらい
保険診療下でのがん遺伝子パネル実施の現状とこれから	金井雅史	京都大学	保険診療として始まったがん遺伝子パネル検査を用いたがんゲノム医療の現状と今後の検査実施時期の前倒しやリキッドバイオプシー開始の見通しを考える。
		到達目標	1. 保険診療化されたがん遺伝子パネル検査の概要を説明することができる。 2. 今後臨床応用が期待されるがんゲノム関連検査の概要を説明できる。 3. がんゲノム医療の保険診療上での見通しを述べるができる
保険診療下でのがん遺伝子パネル検査で検出される GPV/PGPV の取り扱いの現状とこれから	小杉眞司	京都大学	全ての遺伝子が Germline 所見として返却対象になった NCC オンコパネル (GPV)、Foundation liquid (PGPV) への対応を小杉班の推奨度別開示リストとともに理解する。
		到達目標	1. 全ての遺伝子が Germline 所見として返却対象になった検査を列挙できる。 2. 小杉班の推奨度別開示リストに基づく GPV への対応の概要を説明できる。 3. 小杉班の推奨度別開示リストに基づく PGPV への対応の概要を説明できる。
がんゲノム医療で遭遇する Moderate risk の遺伝性腫瘍関連遺伝子への対応	田辺記子	国立がん研究センター	全ゲノム時代を見据え、ATM、STK11、CHEK2、RAD51C など、がんゲノム医療で GPV や PGPV として検出される Moderate risk 遺伝子と確定診断された際のリスク者への介入などの対応を知る
		到達目標	1. 遺伝性腫瘍における Moderate risk 遺伝子をごん別に列挙できる。 2. 代表的な Moderate risk 遺伝子の risk をデータをもとに説明できる。 3. 代表的な Moderate risk 遺伝子の risk に応じた対応の概要を説明できる。
がんゲノム医療時代における、医療倫理と個人情報保護の考え方の現状	吉田雅幸	東京医科歯科大学	がんゲノム医療時代における、医療倫理、個人情報保護 (電子カルテ上での情報共有)、生命保険と診断書への対応、などに関して最低限理解しておくことを知る。

		到達目標	1. がんゲノム医療時代における医療倫理の概要を説明できる。 2. がんゲノム医療時代における遺伝情報の管理と共有の概要を説明できる。 3. 遺伝情報が医療情報として活用される時代における生命保険と診断書への対応について説明できる。
AYA 世代の遺伝性腫瘍への対応	鈴木 直	聖マリアンナ 医科大学	遺伝性腫瘍を発症した AYA 世代がん患者に対する生殖機能（妊孕性）温存の診療の現状と何を情報提供できるか／するべきかを知る。
		到達目標	1. AYA 世代がん患者に対する生殖機能温存の診療の現状を説明できる。 2. AYA 世代がん患者の生殖機能温存に関して提供する情報を列挙できる。 3. 遺伝性腫瘍を発症した AYA 世代がん患者への対応の特徴を列挙できる。
がん患者と家族における心理的課題と緩和ケア	吉川榮省 佐原知子	日本医科大学	がん患者や家族の心理的課題とこれに対する緩和ケアの手法を知り、遺伝に関わる緩和ケアとしての遺伝カウンセリングにどう取り入れるかを考える。
		到達目標	1.がん患者や家族の心理的課題を列挙できる。 2.がん患者や家族の心理的課題に対する緩和ケアの手法の概要を説明できる。 3.遺伝に関わるがん患者や家族の心理的課題でどのように精神腫瘍の専門家にコンサルテーションすればよいのか述べることができる。
がんとともに生きる－がんサバイバーの視点	青木美保	帝京大学	がんとともに生きる人の心理社会的課題を理解し、遺伝性腫瘍特有の課題、未発症変異保持者の心理社会的課題への考察につなげる。
		到達目標	1. がんとともに生きる人の心理社会的課題を列挙できる。 2. 遺伝性腫瘍特有のがんサバイバーの心理社会的課題を列挙できる。 3. 未発症変異保持者の心理社会的課題の概要を説明できる。

## ●参加条件

遺伝カウンセリングアドバンスセミナーは、臨床の場で今まさに活躍している方を対象にして、現場のニーズに即しかつ手の届きにくい遺伝カウンセリングのポイントをテーマとするセミナーです。

今回は、がん遺伝子パネル検査が普及し、がんの個別化医療が推進されていく中での問題点を取り上げます。すなわち、がん診療の上での新しい遺伝カウンセリングの二つの局面です。一つは、AYA 世代に対する対応で、治療後を見据えた方向性についてみなさんと検討していきたいと思います。もう一つは、遺伝性腫瘍での中等度リスク遺伝子バリエーションに対する対応です。どちらも発展途上の内容になりますが、今まさに我々企画者を含めて遺伝カウンセリングの現場で直面しているテーマであると思います。現状を整理することで、実臨床の現場で真に役立つセミナーにしたいと考えております。

そこで、このセミナーが最大限の効果を発揮するために、対象とする参加者と到達目標を明確にし、ロールプレイの参加資格を限定させていただきます。

ロールプレイ参加者の優先順位は以下の順序になります。

1. がんゲノム医療連携病院でエキスパートパネルに参加している（過去に参加していた場合を含む）  
臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー
2. がんゲノム医療拠点病院でエキスパートパネルに参加している（過去に参加していた場合を含む）  
臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー
3. がんゲノム医療中核拠点病院でエキスパートパネルに参加している（過去に参加していた場合を含む）  
臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー
4. がん遺伝子パネル検査における二次的所見の遺伝カウンセリングを1例以上行なった経験のある臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー
5. 遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングを年間5例以上行なっている（過去に行なっていた場合を含む）  
臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー

RPの申し込み時には、職種に応じて情報の提供をお願いいたします。

・臨床遺伝専門医は、勤務先施設名（現在の勤務先ががんゲノム医療連携・拠点・中核拠点でない場合は、過去にエキスパートパネルに出席していた病院）、臨床遺伝専門医番号、基本領域の専門医資格名を提出ください。

・CGCの場合は勤務先施設名（現在の勤務先ががんゲノム医療連携・拠点・中核拠点でない場合は、過去にエキスパートパネルに出席していた病院）、卒業養成校名及び認定番号の提出をお願いします。

・4あるいは5に該当する場合は、その概要を書面でご提出をお願いいたします。

※グループ内のバランスを取るために臨床遺伝の実務経験年数とエキスパートパネル参加経験の期間の記入もお願いいたします。

オンディマンドの講義につきましては将来を見据えた学びを含めて幅広い皆様を対象としており、例年よりも受講料金を下げておりますので聴講のみにつきましてはどうか奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

●募集人数

講義+RP（学会員のみ）：50名

講義のみ：定員なし

●参加費用

講義+RP（学会員）：30,000円

講義のみ（学会員）：5,000円

講義のみ（非学会員）：10,000円

●申込方法：Webで登録をお願いします。<https://survey.mynavi.jp/cre/?enq=C%2b4emsHxzCI%3d>

●受付期間：

講義+RP 令和3年7月28日(水)12:00 ～ 8月18日(水)12:00

講義のみ 令和3年7月28日(水)12:00 ～ 9月3日(金)12:00

会員番号：申込みの際には会員番号（数字 10 桁）が必要です。（例：会員番号 243116〇〇〇〇）

不明の場合は学会事務局まであらかじめ余裕をもってお尋ねください。

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

株式会社毎日学術フォーラム内 日本遺伝カウンセリング学会事務局

Tel.03-6267-4550 Fax.03-6267-4555

E-Mail: jsgc●mynavi.jp ●を@に変えて送信してください

・認定単位：臨床遺伝専門医制度単位 8 単位（ロールプレイ 2 回）

認定遺伝カウンセラー制度単位 8 単位

日本人類遺伝学会細胞遺伝学認定士 5 単位

※講義と RP（学会員のみ）両方を修了された方のみに付与します。

・主催：日本遺伝カウンセリング学会

・後援：日本人類遺伝学会，日本遺伝子診療学会，全国遺伝子医療部門連絡会議

・お問い合わせ先：日本遺伝カウンセリング学会事務局

E-Mail: jsgc●mynavi.jp ●を@に変えて送信してください

Tel.03-6267-4550 Fax.03-6267-4555

※お問合せは E-Mail にてお願いいたします。

日本遺伝カウンセリング学会研修委員会

研修委員長 山本 佳世乃（岩手医科大学）

研修副委員長 吉橋 博史（東京都立小児総合医療センター）

研修担当理事 福島 明宗（岩手医科大学）